

万作の至芸で魅せる桜景色

見物左衛門

花見

狂言三代

祝祭 大狂言会

2025

MANSAIボレロ

「三番叟」を軸とした珠玉の独舞

©細野晋司



©政川慎治



©志賀智

法螺侍

萬斎・裕基 親子共演による新作狂言

作曲/ラヴェル
振付/野村萬斎
MANSAIボレロ

野村 萬斎

野村 萬斎
野村 裕基
野村 修一
野村 憲一
野村 和憲
野村 博治

原作/W.シェイクスピア
ウインザーの陽気な女房たちより
作/高橋康也
演出/野村万作
法螺侍

見物左衛門 花見
野村 万作

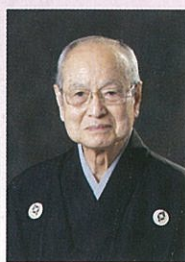
解説
野村 萬斎



野村 裕基



野村 萬斎



野村 万作

2025年4月26日(土) 15:00開演(14:00開場)

【会場】 フェスティバルホール 〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18
京阪中之島線「渡辺橋」駅・地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅より直結

【料金】 S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 SS席11,000円 BOX席13,000円 バルコニーBOX(2席セット)18,000円

※やむを得ない事情により出演者・演目は変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払戻はできません。予めご了承ください。

※未就学児入場不可 ※バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンター(電話・窓口)のみの販売。

ご予約
お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター
06-6231-2221 (10:00~18:00)

※窓口での取扱は1月26日(日)より(ただし残席がある場合のみ)

インターネットでのご予約はこちら

フェスティバルホール

検索



【チケット発売所】

- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 530-898) ●ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード 54944)
- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> ●CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応) <https://cnplayguide.com/>
- セブンチケット <https://7ticket.jp/sc/21nh>

主催:フェスティバルホール/関西テレビ放送 企画制作:万作の会/フェスティバルホール 運営協力:ダンスウエスト

フェスティバルホール
「友の会」優先予約

2024

12/21(土)

10:00~

一般発売

2025

1/25(土)

10:00~

祝祭大狂言会 番組

解説

野村 萬斎

見物左衛門

花見

野村 万作

休憩

原作 W.シェイクスピア
作 高橋 康也
演出 野村 万作

法螺侍

洞田助右衛門

野村 萬斎

休憩

作曲 / ラヴェル
振付 / 野村 萬斎

MANSAIボレロ

野村 萬斎

後見

岡

聡史

©細野晋司

笛 太鼓

松田 弘之
桜井 均

後見

月崎 晴夫
飯田 豪

野村 裕基
中村 修一
高野 和憲
内藤 連
深田 博治

焼兵衛

お竹

お松

太郎冠者
次郎冠者

より

※出演者が一部変更となる場合がございますのでご了承ください

あらすじ

けんぶつえもん はなみ

見物左衛門 花見

季節は桜の花盛り。見物左衛門という男が友人を誘い、京都・清水の地主神社へ花見に行こうとするが、友人は既に出かけたというので一人で出かける。途中、酒宴に紛れ込んだり、踊や舞を楽しみながら、清水・太秦・嵐山と見て廻り…。

一曲を通してシテが一人で演じる珍しい狂言です。シテの台詞と演技のみで、満開の桜やそれを楽しむ人々、空間を描きます。狂言の素手の芸の真骨頂をお楽しみください。

法螺侍

はらざむらい

酒好き女好きで強がりばかりの洞田助右衛門は、身のだしなさがもとで將軍家を追放され、毎日飲み暮らしていたが、ついに酒も酒を賣うお金も底をついてしまふ。そこで女を騙して貢がせようと、家来の太郎冠者と次郎冠者に命じて二人の女に同一の悪文を届けさせる。主人の日頃からの勝手な振る舞いに嫌気がさしていた太郎冠者と次郎冠者は、助右衛門を懲らしめるべく計画を練り始める。

シェイクスピアの「ウインザーの陽気な女房たち」を原作とし、高橋康也によって翻案、1991年に初演された本作品は国内外での再演を重ね、2021年「狂言劇場その九」（世田谷パブリックシアター）での再演から配役も新たに上演しています。

MANSAIボレロ

このボレロは、野村萬斎が2011年12月、世田谷パブリックシアター「狂言劇場その七」で、独舞の形に振付け初演したものです。「ボレロ」は狂言の「三番舞」という舞踏曲に似て、同じリズムを繰り返しながら螺旋状に上りつめていきます。振付には、不動の静（死）から始まり、復活、再生が描かれています。そしてそれは、夜明けから始まる一日や一年（四季）、一生をも15分間に凝縮し表しています。

2013年4月にフェスティバルホールでも上演しましたが、今回はさらにグレードアップした形での上演になります。

日本料理

「福吉兆」お食事付チケット

数量限定販売!

詳細はHPを
ご確認ください

ご予約・お問い合わせは
フェスティバルホールまで!

06-6231-2221

(10-18時)

福吉兆

吉兆創業者・湯木貞一は早くから“世界の名物 日本料理”をモットーに、茶の湯の精神“一期一会”の出会いを大切にしてきました。

その精神を引き継ぎながら、どなたにもより気軽に懐石料理を楽しんでいただけるよう、全席椅子・テーブル席をご用意しています。